掲示板のことば

生きるとは
自分の
物語を
つくること

河合隼雄

2023．05

この言葉は、河合隼雄さんと小川洋子さんの対話『生きるとは、自分の物語をつくること』よりいただきました。

河合さんは、心理学者でいらっしゃいましたが、主にユングの分析心理学、臨床心理学を専門にしていらっしゃいました。

私は、お寺のホームページに、「真実（まこと）の「ものがたり」が語られ、そして、一人ひとりの「ものがたり」を紡いでいけるような、そんなお寺にしていきたいと思っております」という呼びかけの文章を掲載していますが、これは河合さんの影響によるところがとても大きいのです。

かつて私は河合さんのファンで、多くの著作を読ませていただき、私たち人間には「ものがたり」が必要不可欠なのだということを教えていただきました。

「ものがたり」を読み、「ものがたり」を語り、「ものがたり」を聞き、「ものがたり」を紡ぎ、・・・「ものがたり」を生きる。どれもが不可欠です。

私たちは、小説を読むこと、映画やドラマを観ること、絵本や児童文学を読むこと、昔話を聞く（読む）ことに夢中になります。それらを通して私たちは、たくさんの、さまざまな、そして不思議な「ものがたり」を体験しているのです。

多くの「ものがたり」を体験することで、私たちは自分自身の「ものがたり」を紡いでいるのです。それが、「生きる」ということなのでしょう。

真宗大谷派　光明寺住職　小林尚樹